

経営比較分析表（令和6年度決算）

群馬県高崎市 牛伏ドリームセンター

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 1 B 2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(㎡)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	3,978	72	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
7,614	無	0.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	70.8	有

グラフ凡例
■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

分析欄

1. 収益等の状況について

①合宿利用者や休憩利用者は増えてきておりリピーターも増えたが、施設の修繕や厨房冷蔵庫などの破損した備品を新たに購入したことにより支出が増加したため減少してしまった。
②、③については、令和5年度中に完了できなかった修繕や工事が令和6年度に完了したため支出が増加したが、繰入金は減少したため数値が改善されている。
⑦については、老朽化による修繕費が例年増加しているため改善できていない状況である。

団体での利用が増えているため今後も継続して利用していただけるように、さらに魅力的なプランを研究して、売り上げを伸ばせるよう改善していく必要がある。

2. 資産等の状況について

全体的に建物の老朽化が進み、建物の老朽化対策や、突発的な設備や備品の故障などによる修繕費用が増加し計画的な修繕ができない状況である。

将来の修繕や設備更新のために積立していくことが困難な状況であり資産としての自立性が低くなっているため改善できるように再考していきたい。

今後の設備投資としては、非常用電源の修理やトイレの洋式化工事等を予定している。

3. 利用の状況について

宿泊利用については、令和4年度は3086名、令和5年度は3,557名、令和6年度は4,004名と増加しているため④の数値については改善できている。

⑤については、売上高は増加して効率的な経営ができつつあるため人件費率は減少させることができた。

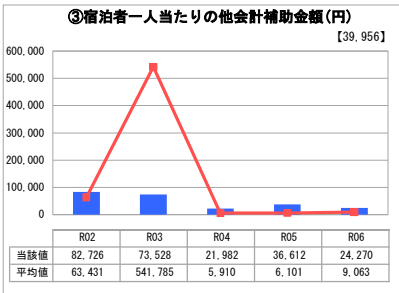
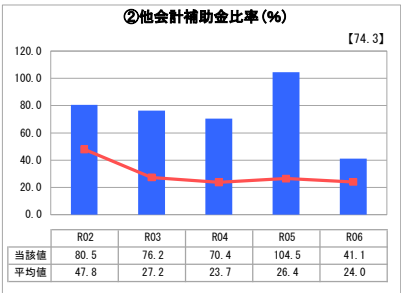
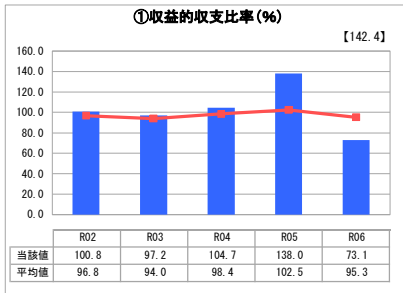
⑥については、収益的にはこの2年間で増加しているが、修繕や工事に伴う支出も増加しているためほぼ横ばいとなっている。

全体総括

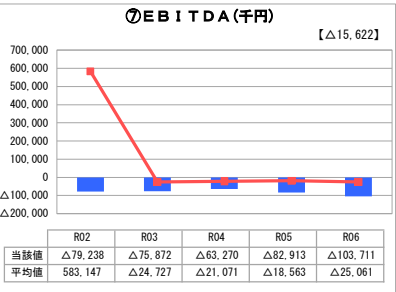
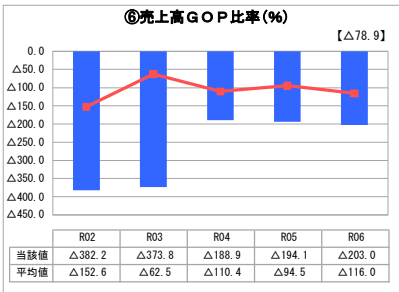
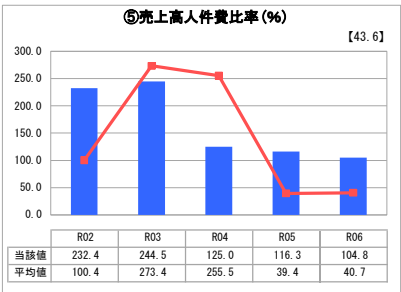
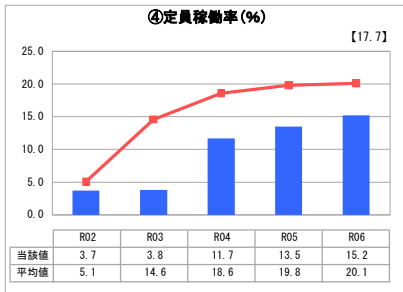
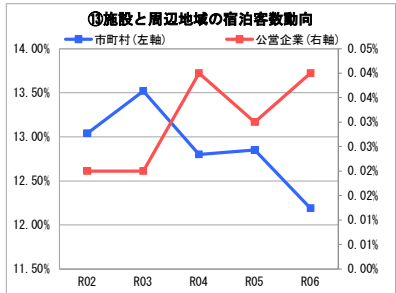
施設の老朽化も進んでいくことから、今後、修繕や更新に係る費用が増大することが考えられる。人件費などを含めた運営運営体制などの見直しと、利用促進だけでなく宿泊・サービス単価が適切かなどターゲット層についても再構築するなど対策を再考していきたい。⑦の状況をみても市の財政に頼らざるを得ない状況である。公共施設としての役割（環境事業の還元施設・福祉の側面など）を含めてコスト負担が見合っているかどうかなどを検討して適切な運営ができるように、より一層の経費削減に努め、経営の効率化を高めていく必要がある。

厳しい経営状況ではあるが、地域の福祉・還元施設としての重要性を考慮し、団体客の誘致や徹底したコスト管理を行うことで、持続可能な運営を目指していきたい。

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

